

瀬戸内海環境保全特別措置法に
基づく事前評価に関する書面

2025 年 4 月 23 日

申請人 住 所 奈良県生駒郡安堵町西安堵 3 3 9 - 1
氏 名 松井磨シャフト株式会社
代表取締役 松井 行雄
TEL



事前評価に関する書面

- | | |
|--|------|
| 1. 許可申請の概要 | 別紙－1 |
| 2. 排水口の位置及び数
(施行規則第4条第1項第1号) | 別図－1 |
| 3. 排水口周辺の公共用水域について定められている水質汚濁に係る環境基準その他の水質汚濁に係る環境保全上の目標に関する事項
(同 第2号) | 別紙－2 |
| 4. 周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項
(同 第3号) | 別紙－3 |
| 5. 第1号の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大の値並びに当該排出水の日当たりの通常値及び最大の量
(同 第4号) | 別紙－4 |
| 6. 排出水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度及び範囲並びにその予測の方法
(同 第5号) | 別紙－5 |
| 7. その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項
(同 第6号) | 別紙－6 |
| 8. 結び | 別紙－6 |

別紙－ 1

1. 許可申請の概要

(1) 工場又は事業場の概要

名 称		松井磨シャフト(株) 奈良工場		
所 在 地		奈良県生駒郡安堵町西安堵 3 3 9 - 1		
業種※		磨棒鋼の製造業	用途地域	準工業地域
主要製品※※		磨棒鋼及び鉄線		
特定施設番号		65 酸又はアルカリによる表面処理施設		
排水 量	通 常	70 m ³ /日 (うち特定排水 70 m ³)		
	最 大	85 m ³ /日 (うち特定排水 85 m ³)		
排水処理方法		工程排水：中和、凝集沈殿 生活排水：浄化槽		

備考 1. ※印の欄は、生活系し尿処理施設の場合は記載しないこと。

2. ※※印の欄は、製造業以外の業種の場合は記載しないこと。

(1) 特定施設の設置又は変更の概要

ア. 施設の設置・変更の理由及びその概要

石灰槽の申請が漏れていたため、今回新たに設置申請するもの。

65 酸又はアルカリによる表面処理施設を 1 基廃止し、2 基新設する。

イ. 排水量及び負荷量の増減に関する概要

一部排水において、排水処理施設による処理から、産廃引取に変更した。また、需要減もあり、工程排水量は過去に比べ減少し、負荷量も減少している。

他、防火水槽設置等による増減は下表のとおり。施設全体としては、排水量及び負荷量は減少している。(詳細は別紙 4 参照)

	No.1排水口 (工程排水)	No.2排水口 (手洗い排水)	No.3排水口 (浄化槽排水)	No.4排水口 (防火水槽排水)	No.5排水口 (浄化槽排水)	計
最大排水量の増減						
最大排水量 (m ³ /日)	-275	4	-10	22	-2	-261
負荷量の増減						
BOD (mg/l)	-0.275	0.004	-0.468	0.022	-0.214	-0.931
COD (mg/l)	-0.825	0.004	-0.612	0.022	-0.076	-1.487
SS (mg/l)	-9.68	0.004	-0.22	0.022	-0.046	-9.92
T－N (mg/l)	-0.874	0.004	-0.768	0.022	-0.138	-1.754
T－P (mg/l)	-0.281	0.004	-0.113	0.022	-0.027	-0.395

別紙 1－2

2. 工場又は事業場からの排水経路並びに工場又は事業所の排水口の位置及び数

(1) 排水口の位置及び数

①排水口の位置：別図 1 のとおり

②排水口の数：工程排水 1 カ所、浄化槽排水 2 カ所、生活排水 1 カ所、
防火水槽排水 1 カ所

(2) 排水系等及び排水経路の略図

別図 2 のとおり

別紙－２

３．排水口周辺公共用水域の環境基準その他環境保全上の目標に関する事項

放流先 水路・河川名	岡崎川			
環境基準（類型）	C類型			
環境基準点	岡崎川流末			

（１）人の健康の保護に関する環境基準

項目	環境基準値	単位
カドミウム	0.003	mg/L
全シアン	検出されないこと	mg/L
鉛	0.01	mg/L
六価クロム	0.05	mg/L
ヒ素	0.01	mg/L
総水銀	0.0005	mg/L
アルキル水銀	検出されないこと	mg/L
PCB	検出されないこと	mg/L
ジクロロメタン	0.02	mg/L
四塩化炭素	0.002	mg/L
1,2-ジクロロエタン	0.004	mg/L
1,1-ジクロロエチレン	0.1	mg/L
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	mg/L
1,1,1-トリクロロエタン	1	mg/L
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	mg/L
トリクロロエチレン	0.01	mg/L
テトラクロロエチレン	0.01	mg/L
1,3-ジクロロプロペン	0.002	mg/L
チウラム	0.006	mg/L
シマジン	0.003	mg/L
チオベンカルブ	0.02	mg/L
ベンゼン	0.01	mg/L
セレン	0.01	mg/L
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10	mg/L
フッ素	0.8	mg/L
ほう素	1	mg/L
1,4-ジオキサン	0.05	mg/L

（２）上記類型の生活環境の保全に関する環境基準（ C 類型）

項 目	p H	B O D	S S	D O	大腸菌数
基 準 値	6.5～8.5	5 mg/L以下	50 mg/L以下	5 mg/L以上	—

別紙 3 - 1

4. 周辺公共用水域の水質の現況その他当該水域の現況に関する事項

(1) 周辺公共用水域の水質の現況

採水機関名 ケイ・エス分析センター	分析機関名 奈良県景観・環境総合センター
-------------------	----------------------

水域 岡崎川			測定地点名 岡崎川流末							
現 状	月／日	時刻	p H	BOD mg/l	COD mg/l	S S mg/l	ヘキサン 抽出物質 mg/l	全窒素 mg/l	全リン mg/l	流量 m ³ /日
	2023/4/4	11:05	8.3	5.7	10	17	-	1.9	0.78	
	5/10	11:05	7.9	3.2	8.1	9	-	1.5	0.45	
	6/15	11:20	7.6	2.9	9.4	18	-	1.1	0.38	
	平 均									
将来水質										
水域 岡崎川			測定地点名 岡崎川流末							
現 状	月／日	時刻	p H	BOD mg/l	COD mg/l	S S mg/l	ヘキサン 抽出物質 mg/l	全窒素 mg/l	全リン mg/l	流量 m ³ /日
	7/4	11:05	8.1	3.9	10	12	-	1.0	0.41	
	8/1	11:05	8.8	1.8	7.9	10	-	0.69	0.63	
	9/19	8:50	7.5	3.2	7	4	-	0.81	0.26	
	平 均									
将来水質										
水域 岡崎川			測定地点名 岡崎川流末							
現 状	月／日	時刻	p H	BOD mg/l	COD mg/l	S S mg/l	ヘキサン 抽出物質 mg/l	全窒素 mg/l	全リン mg/l	流量 m ³ /日
	10/2	10:15	7.6	2.2	6.9	11	-	1.6	0.22	
	11/1	10:40	8.2	4.9	13	15	-	1.5	0.36	
	12/4	11:05	7.8	6.2	11	14	-	2.1	1.2	
	平 均									
将来水質										
水域 岡崎川			測定地点名 岡崎川流末							
現 状	月／日	時刻	p H	BOD mg/l	COD mg/l	S S mg/l	ヘキサン 抽出物質 mg/l	全窒素 mg/l	全リン mg/l	流量 m ³ /日
	1/22	10:45	7.9	5.0	8.1	13	-	1.7	0.12	
	2/7	11:00	7.9	5.2	8.4	15	-	1.7	0.36	
	3/11	11:15	8.0	5.6	8.1	11	-	1.3	0.21	
	平 均									
将来水質										
水域			測定地点名							
現 状	月／日	時刻	p H	BOD mg/l	COD mg/l	S S mg/l	ヘキサン 抽出物質 mg/l	全窒素 mg/l	全リン mg/l	流量 m ³ /日
	平 均		7.9	4.6	8.0	11	-	1.4	0.38	
将来水質										

別紙 3－2

(2) 当該水域の現況に関する事項

排水処理施設放流口、浄化槽排水放流口等より排水路を経て岡崎川に放流。岡崎川は一部農業用水として利用されている。

別紙 4

5. 工場又は事業場の各排水口における排出水の汚染状態の通常値及び最大の値
 当該排出水の1日当たりの通常値及び最大の値並びに当該排出水の汚濁負荷量

排出口	区分 項目	現 況			設置（変更）後			負荷量の 増減
		通常	最大	※負荷量	通常	最大	※負荷量	
No. 1 （工 程排 水）	排水量（m ³ /日）	250	330	—	40	55	—	
	p H	7.2	7.2	—	7.2	7.2	—	
	BOD（mg/l）	1	3	0.33	1未満	1未満	0.055	-0.275
	COD（mg/l）	3	5	0.99	3	3	0.165	-0.825
	SS（mg/l）	30	50	9.9	4	6	0.220	-9.68
	T-N（mg/l）	3	3	0.99	2.1	2.3	0.115	-0.874
	T-P（mg/l）	1	1	0.33	0.9	0.9	0.049	-0.281
No. 2 （手 洗排 水）	排水量（m ³ /日）	—	—	—	4	4	—	
	p H	—	—	—	7.2	7.5	—	
	BOD（mg/l）	—	—	—	1	1	0.004	+0.004
	COD（mg/l）	—	—	—	1	1	0.004	+0.004
	SS（mg/l）	—	—	—	1未満	1	0.004	+0.004
	T-N（mg/l）	—	—	—	1	1	0.004	+0.004
	T-P（mg/l）	—	—	—	0.1	0.1	0.004	+0.004
No. 3 （浄 化槽 排水）	排水量（m ³ /日）	10	12	—	2	2	—	
	p H	7.3	7.3	—	7.3	7.3	—	
	BOD（mg/l）	41	80	0.492	12	12	0.024	-0.468
	COD（mg/l）	55	—	0.660	24	24	0.048	-0.612
	SS（mg/l）	20	100	0.240	10	10	0.020	-0.220
	T-N（mg/l）	70	—	0.840	36	36	0.072	-0.768
	T-P（mg/l）	10	—	0.120	3.5	3.5	0.007	-0.113
No. 4 （防 火水 槽排 水）	排水量（m ³ /日）	—	—	—	22	22	—	
	p H	—	—	—	7.2	7.2	—	
	BOD（mg/l）	—	—	—	1	1	0.022	+0.022
	COD（mg/l）	—	—	—	1	1	0.022	+0.022
	SS（mg/l）	—	—	—	1未満	1未満	0.022	+0.022
	T-N（mg/l）	—	—	—	1	1	0.022	+0.022
	T-P（mg/l）	—	—	—	0.1	0.1	0.002	+0.022

*負荷量（kg/日）＝最大排水量（m³/日）×通常水質（mg/l）×10⁻³

排出口	区分 項目	現 況			設置（変更）後			負荷量の 増減
		通常	最大	※負荷量	通常	最大	※負荷量	
No. 5 （浄 化槽 排水）	排水量（m ³ /日）	3	4	-	2	2	-	
	p H	7.3	7.3	-	7.3	7.3	-	
	BOD（mg/l）	63	80	0.252	19	19	0.038	-0.214
	COD（mg/l）	41	-	0.164	44	44	0.088	-0.076
	SS（mg/l）	20	50	0.080	17	17	0.034	-0.046
	T-N（mg/l）	70	-	0.280	71	71	0.142	-0.138
	T-P（mg/l）	10	-	0.040	6.9	6.9	0.013	-0.027

別紙 5－1

6. 排水水の排出に伴い予測される周辺公共用水域の水質の変化の程度及び範囲並びにその予測の方法

(1) 周辺公共用水域の範囲

(2) 予測の方法

予測は次の式による

$$S' = \frac{SQ + (\sum S_i Q_i - \sum S'_i Q'_i)}{Q + (\sum Q_i - \sum Q'_i)}$$

S' ; 将来水質 (mg/l)

S ; 現況水質 (低水流量時) (mg/l)

Q ; 低水流量 (m^3 /日)

S_i ; 特定施設設置後の i 排水口の平均水質 (mg/l)

Q_i ; 特定施設設置後の i 排水口の最大排水量 (m^3 /日)

S'_i ; 現状での i 排水口の平均水質 (mg/l)

Q'_i ; 現状での i 排水口からの最大排水量 (m^3 /日)

別紙 5 - 2

地点名 ()

S' (BOD) = _____ =

S' (COD) = _____ =

S' (S S) = _____ =

S' (T-N) = _____ =

S' (T-P) = _____ =

地点名 ()

S' (BOD) = _____ =

S' (COD) = _____ =

S' (S S) = _____ =

S' (T-N) = _____ =

S' (T-P) = _____ =

地点名 ()

S' (BOD) = _____ =

S' (COD) = _____ =

S' (S S) = _____ =

S' (T-N) = _____ =

S' (T-P) = _____ =

別紙6

7. その他当該特定施設の設置が環境に及ぼす影響についての事前評価に関して参考となるべき事項

(1) 分析管理体制

①自社分析 分析機器 pH メーター

COD 分析器具

②分析機関依頼 機関名 ㈱総合水研究所

項 目 pH, BOD, COD, SS, T-N, T-P、T-Fe

実施回数 1 回/月

(2) 放流同意書

別紙のとおり

(3) スラッジの処理方法

産廃引取 (年 1 ～ 2 回)

(4) 事故防止策

処理施設の責任者を定め、処理施設の日常・定期点検及び処理水の水質状況の監視・管理を行い、設備故障・水質異常の早期発見に努める。

万一事故が発生した場合は、工場の操業停止、排水をストップし、原因究明に努める。

(5) 公害防止協定

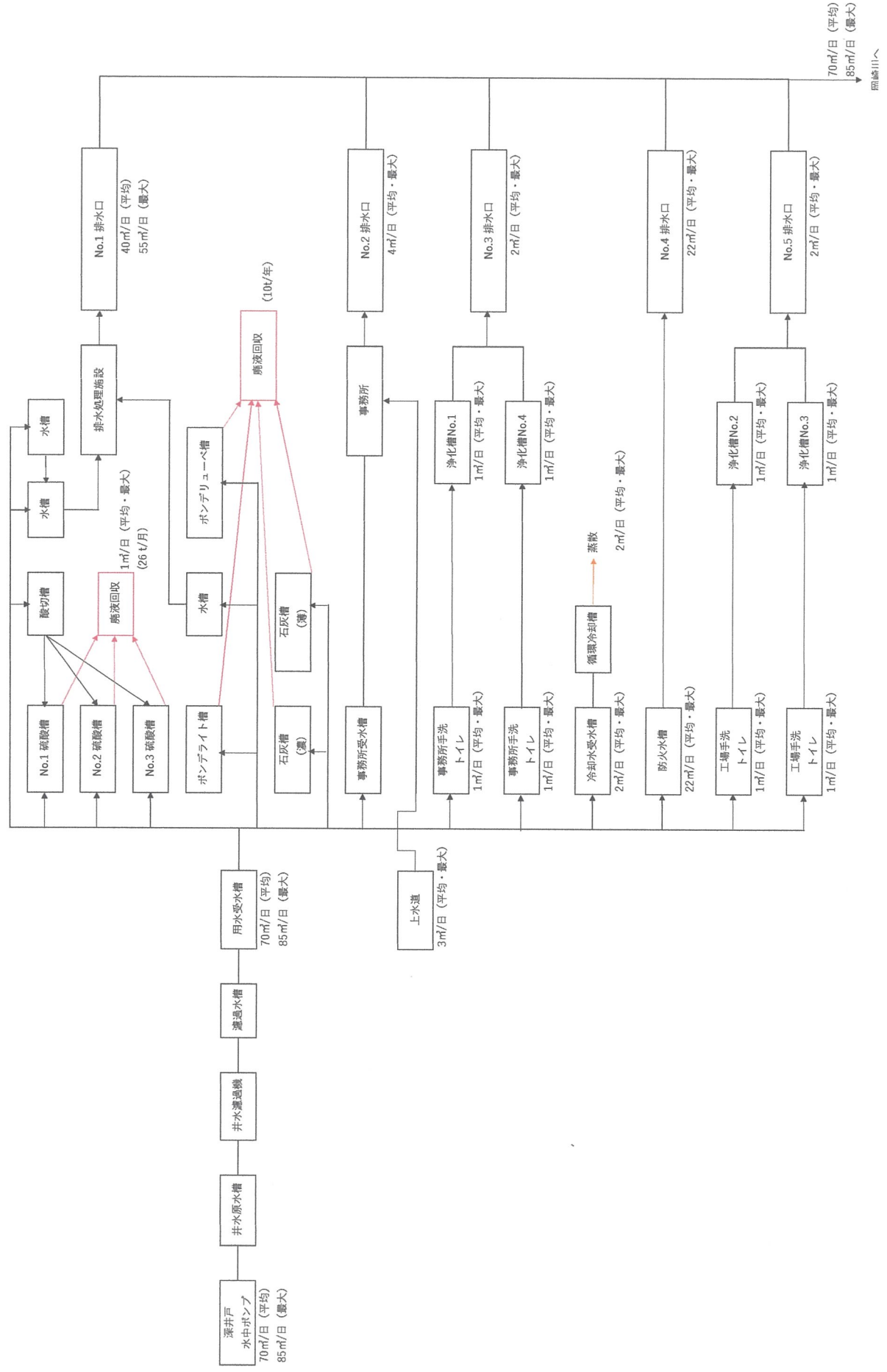
なし

8. 結び

当該事業場特定施設設置後の運転管理には万全を期して、周辺公共用水域の環境保全に鋭意努力致します。

用水及び排水の系統図

別図 6



同意書

貴会社園崎川の工場排水放流については
誓約書を以て同意致します

昭和五年八月十二日

窪田土地改良会

理事長 古田 義明



松井磨石ヤット株式会社
代表取締役 松井行造 敬

No.

Date

昭和58年11月25日

窪田水利組合長 殿

奈良県生駒郡安堵村大字西安堵339

松井磨シヤブ株式会社

代表取締役 松井行造

誓約書

弊社工場廃水を岡崎川へ放流するに付きまして、
万一御迷惑をお掛け致すような場合は、当社の
責任に於て、直ちに原因を究明致し、改善致す事は
勿論、一切の責任を負う事を誓約致します。